

学校運営協議会議事録

校名	府立東高等学校
校長名	塩見 暢朗

開催日時	令和 6 年 11 月 21 日(木)16:00～ 17:00
開催場所	大阪府立東高等学校 会議室
出席者(委員)	森 久佳 会長(オンライン) 新木貴雄 副会長 江越 航 委員 木村知史 委員 片山政利 委員
出席者(学校)	塩見校長 田中教頭 森川首席 今村首席 松岡実習教員
傍聴者	なし
協議資料	令和6年度「学校経営計画および学校評価」(進捗状況)
備考	

議題等(次第順)

①令和6年度「学校経営計画および学校評価」(進捗状況)について

協議内容・承認事項等(意見の概要)

①令和6年度学校経営計画について、協議の結果全委員から承認された。
協議において、次のような意見が出された。

- ・大学見学会について。全学年の保護者から、大学に対して時間が足りなくなるくらいの活発な質疑が大変たくさん出た。非常に良い催しだった。企画していただきありがたく思う。
- ・今の中学生の東高校入学について。知人より、中学校の先生から現在大変伸びている高校の一つが東高校だと伝えられたと聞いたので、紹介させていただく。
- ・第1回で提言した、理数科と英語科の取組を相乗効果が出るような取組となるよう長期的な視野で検討するための具体的な案を例として1つ提示したい。探究活動を、全体発表とは別に英語によるプレ発表を、ロングホームルームの時間を活用し、英語科・理数科の生徒4人1組で実施したらどうか。理数科にとっては、英語を一文で相手に理解してもらう能力の育成となる。英語科にとっては、科学的内容を理解する機会を創設することになる。中期的・長期的な取り組みとして、もし取り組んでいければ、東高校の価値もますます上がっていきと期待している。
⇒段階的に、例えば昨年度より増加している海外の体験留学生生に対し、まずは少人数から提案いただいた試みをスタートしてはどうか。最終的には2月の生徒研究活動発表会で英語でプレゼンするという機会があってもいいのではないか。
- ・校時の見直しの検討について。これは朝の時間を遅らせるということか。東高校が広域から選ばれるほど通学距離が長くなる生徒の割合が増えることで、従来以上に遅刻の割合が増えることも考えられるが、そのこととリンクしているのかどうか。
⇒平常の校時について。遅刻防止という観点から、1時間目の授業を今よりも早くしようと考えている。生徒は授業があれば遅刻はしない。現に学校行事の時の遅刻はほぼゼロである。また、教員の育児において、現在は男性も育児参加のために制度を活用して。活用している教員は、朝のショートホームルームがあると担任ができない理由の1つになる。
⇒定期考査の校時について。交通機関の乱れを吸収し、安定的に定期考査を運営したいということ、そのために日程を1日伸ばして最大で2科目にすることを検討している。まだ案であり、現在意見集約している。
- ・ここ数年、国公立への志望者が増え、それに伴って進学者も増えている印象である。国公立大学総合型選抜に東高校の探究の学びが十分に活かすための今後の方向性についていかがか。
⇒3年計画の学校経営推進費の活動が柱になっている。知見のある外部講師を招いて生徒への指導と共に教員研修も行う取組を3学期に予定している。
- ・東高校は長年探究をベースにした活動を実践してきた。その資産を活かす「E-PLANET」が非常に大きな起爆剤になりうると考えられる。

次回の会議日程

日時	令和 7 年 2 月
会場	大阪府立東高等学校 会議室